

AMG リハビリテーション部広報誌

リハ通信

連携・信頼・進化の AMG リハ

リハビリテーション部 基本方針



1. お互いに高められる関係づくり
2. 新しい時代を創出する体制づくり
3. 地域包括マネジメントシステムの確立

2018/6 月号



部長挨拶（ボンコツ部長のたわ言）



AMG 協議会リハビリテーション部
部長 奥村 博文

日ごろより、大変お世話になっております。
AMG 協議会リハビリ部の奥村でございます。
皆さまは、「ウサギとカメ」の童話は知って
いらっしゃいますか？
ほとんどの方が、子供のころに何かの機会に
聞いたことがある童話かと思います。
この「ウサギとカメ」についておもしろい話を
見つけたので、ご紹介いたします。



※ 下記にも載せましたが、パパジンというパパブロガーさんのブログからの引用です。

以下 引用文

<第 1 章>

- ・ ウサギとカメでレースして、
- ・ ウサギが途中でお昼寝してたら
- ・ カメが追い抜いて 1 位でゴールする



ここまではご存知の通り。で、ここからですよ。

<第 2 章>

- ・ ウサギがもう一度レースをしようと言う、カメも是非と応じる
- ・ 今度は普通にウサギが勝つ
- ・ 最後に参加者同士で写真撮影をするときに、勝ったウサギの横でカメが笑った
- ・ ウサギはカメに聞いた、「なぜ負けたのに笑っているの？」
- ・ カメは答えた、「自分のタイムが、最初のレースよりも上がったからだよ。」



という話なのです。

このストーリーから学ぶべきは・・・、「敵は相手ではない、自分なのだ」、「負けにも学ぶものがある」といったところでしょうか。

引用はここまで

[papazine - papazine -](http://www.papazine.com/) より (<http://www.papazine.com/>)

私の話に戻ります

この話(第2章)がどこから出てきた話かまでは分かりませんが、私から、少々この「ウサギとカメ」(1,2章)に感想を付け加えるとすれば、カメは、「ウサギではなく、ゴール(目標)」を見ていたから、勝ち負けに関わらず自身の成長を感じ、達成感を得ることが出来たということだと思います。

社会に出て仕事をしていると、周りの人間が気になるものです。あの人は、「自分より優れているなあ」とか「あの時から、私はどう見えているのだろう」とか。

しかしながら、そういったことに対する意識というものは、「劣等感」は生んでも、「達成感」(自身が成長できた実感とでも言いましょうか)は生まない気がします。自分と比較すべきは、昨日の自分であって、他人と比較することは大きな意味を持たない気がします。

組織に求められる仕事、対象者(顧客)に求められる仕事をするためには、他人との比較や競争も必要とおっしゃる方もいらっしゃるかもしれませんが、もちろん、全ては否定しませんが、組織に、顧客にあてにされる人というのは、明確な自身の目標を持ち、日々自身の目標に向かって、努力を積み重ねている(ぶれない)方だと思います。

そういった人々に共通して言えることは、仕事をする上で、いつも考えているのは、「組織の期待、顧客の期待に「応える」こと(仕事をする上での大目標)」、や「自身の小目標」であって、誰かに勝つことでは無いような気がします。

不思議なことに、他人の評価を気にしたり、自分を他人と比較し始めると、この「仕事をする上での大目標」「自身の小目標」などが見えなくなってきました。そうすると進むべき道が分からなくなり、モチベーションも保つことも難しくなります。

よく商売を語るさいにも、儲けようとする方法も分からなくなり、儲からないが、お客を喜ばせようするとやるべきことが見えてきて、勝手に儲かると言われる。

日本人が良く使う「初心に返る」という言葉も、「本来の目標を見失わないように・・・」と言う意味もあるかもしれません。

自身の目標を持ち、自身が成長できている喜びを感じ、進むべき道を見失わないようにしたいものです。ポンコツ部長が目標を見失っていたら、遠慮なくご指摘くださいませ。

◆部長ホットライン

TEL : 048-775-6466

MAIL : hirofumi.okumura@achs.jp

なんでもご相談ください



前園所長あいさつ

AMG 地域健康推進研究所

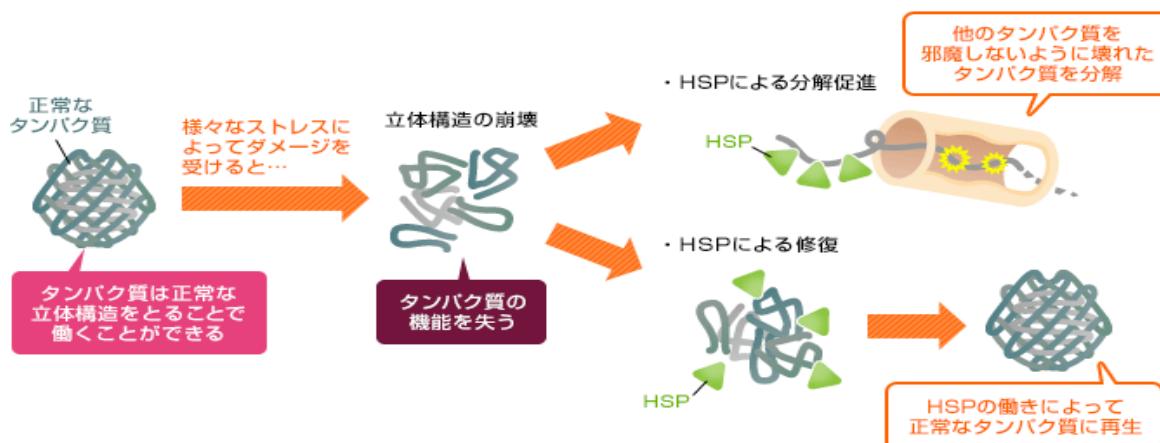
所長：前園 徹

今年も梅雨の時期になりましたね。皆さん、体調管理はどうでしょうか？

ヒートショックプロテインってご存知ですか？



自己回復タンパク(HSP)の働き(タンパク質の品質管理)



ヒートショックプロテイン (HSP) とは、傷んだ細胞を修復する働きを持つタンパク質のこと。また、免疫細胞の働きを強化したり、乳酸の発生を遅らせるなどの力も持っています。つまり、カラダにとってはとてもありがたい存在で、HSPが増えることは、「カラダを元気にする」ことにつながっているのです。

ところが、普段の生活のなかで、簡単にHSPを増やすことができる方法があるのです。

それはズバリ、「入浴」。お風呂に入って体温を上げ、保温することによってHSPを増加させ、免疫力もアップ。HSPは、体温が38度くらいまで上げ保温することによって体内で作られますが、もともと平熱が低い人が、いきなり38度まで体温を上げるのは難しいですし、身体にも余計な負担がかかってしまいます。平熱プラス1.5度アップを目差しましょう。

それから入浴前には、たっぷり水分をとって脱水を防ぐことも忘れずに。

お湯の温度は、40～42度くらいに設定。温度を上げすぎるのはNGです。

この状態で、湯船に10分ほどつかっていると、自然に体温は1度ほど上昇します。そしてこのままさらに10分程入浴すればOK。入浴後は、部屋を適温にし、身体を冷やさないことも大切です。この後体温は自然に下がっていき、増加したHSPは1週間ほど体内に残り、その力を発揮します。HSPのパワーがピークを迎えるのは、入浴から2日後。ちなみにこの入浴法でHSPを増やすのは、週に2回の割合でOK。このような温度での入浴ではストレスを感じなくなってしまうからだそうです。

しかし、夏場の暑い時期には高い温度のお風呂が苦手という方も多いと思います。

38℃～40℃でもHSPを増やす方法があります。炭酸浴です。

炭酸浴では、①美肌効果、②血行促進効果、③ヒートショックプロテインの増加、④ダイエット効果が期待できるそうです。

学生時代に水治療法の授業で温浴効果には20分で芯まで温まることを学んだ経験があります。15分～20分ぐらいの入浴で発汗してきます。

食べすぎ、飲みすぎの翌日30分の入浴をすることを習慣としています。30分の入浴で500グラムは痩せますよ。皆さんも入浴習慣で、体調管理をしてみてください。

◆AMG 地域健康推進研究所

TEL：048-778-2805

MAIL：toru.maesono@achs.jp

FAX：048-778-2806

PT・OT・ST 就職相談会 2018 を開催します

今年もPT・OT・STの平成31年3月卒業予定者および経験者を対象とした就職相談会を開催します。例年ご好評をいただき、今回は埼玉・東京・福岡・宮城・新潟の5都市にて開催が決定しました。各日とも、ARMACメンバーが個別に対応致します。この相談会から見学に繋がることも多いため、遠方にお住まいの方にもしっかりとAMGリハの魅力をお伝えしたいと思います。皆様のお知り合いがいらっしゃいましたら、ご案内頂けると幸いです。

時間 10:00～14:00

参加方法：事前申込制

*説明会ポスターおよび募集案内パンフレットのご請求はリハビリ部までお電話ください。

☎048-775-6466 (採用担当：三尾・長澤)



連携・信頼・進化のAMGリハ
地域を支える、セラピストへ

上尾中央医科グループ (AMG)
リハビリテーション部

新卒 (2019年3月卒業予定者)・経験者対象

PT・OT・ST

就職相談会 2018

開催日程・会場	新潟	東京
7/22日	7/28土	
会場 駅南資金庫室KENTO (Room A)	会場 TKP大塚駅前 セントラルカンファレンスセンター (カンファレンスルーム13F)	
宮城	福岡	埼玉
7/29日	8/4土	8/21火
会場 TKPガーデンシティ仙台 (カンファレンスルーム30C)	会場 TKPガーデンシティ天神 (52)	会場 TKP大塚駅前 セントラルカンファレンスセンター (カンファレンスルーム13F)
時間 10:00～14:00 服装自由		
事前申込制 申し込みはAMGリハリハHPから http://www.achs.jp/rehabilitation/		

たくさんのご参加をお待ちしております♪

平成 30 年度 上尾中央医療専門学校新聞

ー 学生募集活動について ー

昨年度は、主に教育活動の実際をお伝えしてきましたので、今年度は学校運営に関する活動をお伝えします。事務職と教員を合わせて実質 24 名の上尾医専、学校運営活動も全員が参加します！！

まずは学生募集活動の実際についてです。

1. 受験までの流れ

受験生が本校を選択し、受験するまでの流れはおおよそ下記の通りです。



2. 上尾医専を知ってもらうための、いろいろな活動

1) 出身高校へのフォトメッセージ

出身高校に、入学メッセージや就職内定メッセージを送ることで、興味をもってもらえるきっかけとなっています！

2) 上尾医専の授業紹介

普段の様子が知りたい！という声にお応えして、授業中の様子がわかる写真とともに、授業内容の紹介をブログで定期的に行っています！

興味がある方はぜひこちらからご覧ください♪⇒



早期離床の実技練習の様子



上尾医専ブログ
授業の様子やイベント情報を発信

Schedule

オープンキャンパス・学校説明会はいずれも 9:30 ~ 13:00

オープンキャンパス	6月 2018年 23日 土	7月 21日 土 22日 日	8月 11日 土 18日 土 19日 日	9月 15日 土	12月 15日 土
学校説明会	9月 2018年 29日 土	10月 27日 土	11月 17日 土	1月 2019年 12日 土	2月 9日 土 23日 土
入試日程	高校推薦入試 (指定校推薦および公募推薦) 2018年 10月 6日 (土)	推薦入試 A 日程 2018年 11月 3日 (土・祝)	推薦入試 B 日程 2018年 11月 23日 (金・祝)	推薦入試 C 日程 ※作業療法学科のみ実施 2018年 12月 22日 (土)	
	一般入試 A 日程 2019年 1月 19日 (土)	一般入試 B 日程 2019年 2月 16日 (土)	一般入試 C 日程 ※作業療法学科のみ実施 2019年 3月 2日 (土)		

※推薦入試 B 日程以降は、同学科とも定員になり次第募集を締め切ります。募集状況についてはホームページ等でご確認ください。

リハビリテーション専門職を育成

上尾中央医療専門学校

作業療法学科 理学療法学科



イベント申し込みは
こちらから

お待ちしております！



病院紹介

上尾中央医科グループ

康麗会 越谷誠和病院

“雰囲気がいいいですね”

当科に関わってくれた方々から、こんな言葉を頂くことが多くあります。私にとって嬉しい言葉です。

『セラピスト』は、相手の立場に立って必要な支援をする存在だと思っています。私の考える「リハビリテーション」は、その専門性を活かしながら医療・介護の関連職種と連携し、対象となる方の生活を、その方の理想とする形に近づける努力を続けることだと思っています。

スタッフの特徴

和 コミュニケーション

傾聴 他者の意見を聞き入れる柔軟性

向上心 対象の方に効果的に関わるスキルの獲得

この3つの意識が実践され、スタッフ相互の会話や、対象となる方との関わりを客観的にみて『雰囲気がいいいですね』と感じてくれているのかなと思っています。

こんなスタッフがいる職場で、人として、セラピストとして、充実した時を一緒に過ごしていきましょう。

採用情報はココ➔



リハビリテーション科

科長 山田 義憲

専属チーム体制



**Come
Together
2019 !!**

PT 24名 OT 9名 ST 4名 受付 2名

船橋総合病院 リハビリテーション科 OT大募集！



急性期から維持期まで関わられるよ！

ADL介入しやすいよ！

整形のope件数が多いよ！

興味のあるアプローチを試せるよ！

OT全員仲良し！！

脳外・整形疾患が幅広く診られるよ！

自分の意見が取り入れられやすいよ！

船橋総合病院
OT大募集！！



ADL練習風景

現在OTの人数は、16人
1年目～12年目までのスタッフが一般・回復期・訪問部門で勤務しています。

OTの中で一つの目標を共有し、職場環境の改善に向け、年間を通して活動しています。

主に関わる対象疾患は、中枢疾患、運動器疾患、呼吸器疾患、その他（難病など）などであり、幅広い疾患に関わることができます。

技術的な縛りがないので、各々が興味のある分野の勉強会（PNF、ボバース、ケアマネ等）に参加できます。（AMGグループ内の研修会にも参加できます）

Activity風景

ADL介入に必要なシミュレーターとして、入浴シミュレーター、キッチンシミュレーター、和室がOT室には完備されています。シミュレーターでの動作訓練後に病棟ADL介入を行っています。

OT勉強会風景

和室

洗濯機&シミュレーター

まずはお気軽にお問い合わせください。見学は随時受け付けております！勿論PT・STも大歓迎です！

◎お問い合わせ 船橋総合病院リハビリテーション科 木村祐子

HPはこちら☆→

TEL : 047-425-1151 (病院代表)

Mail : reha@fgh-carrot.com



AMG リハビリテーション部 キャリア支援委員会 企画

ロールモデルアンケート

ハートケア市川 大島夕哉さん (OT) のご紹介

I. はじめに

1. 基本的属性 (性別、年齢、職業、家族構成、居住地、資格・免許、学歴)

33 歳♂。

職業：作業療法士 家族構成：妻・子二人 (長女 4 歳/長男 2 歳)

住まい：千葉県松戸市

資格：作業療法士・介護支援専門員

学歴：帝京平成大学作業療法学科卒

2. なぜこの職業に就こうと思ったのですか？

高校の頃は、獣医になりたいと思っていました。しかし学力が伴わず断念。そこから医療系の職種にも興味が湧き、作業療法士を知りました。その頃、今は亡き祖母が認知症を患っていたので、より関心もあったのだと思います。

3. 今、取り組んでいること、学んでいることは？

現在はデイケアを担当しています。週 2 ～ 3 回の利用で、リハビリとして関わるのは 30 分程。その限られた時間の中で、その方は体調を崩していないか？別の病気になっていないか？など発見し、なるべく早期に対応できるよう心がけています。特に老健では、看護師や医師は一人一人に個別に関わる時間が取れないので、個別に関わる事ができるリハ職がこのような役割も担う必要があると思います。

4. 今、取り組んでいること、学んでいることにはどんな想いで？

私が入職してから現在までハートケアを利用されている方が大勢います。自分を可愛がってくれるご利用者もいて、これからも体調を崩さず元気で通って頂きたいと思っています。

II. 経緯とターニングポイント

1. 職歴

平成 19 年ハートケア市川入職～現在に至る。

2. 子供のころはどんな子供でしたか？

田舎生まれなので、小学校の頃は『缶蹴り⇒ファミコン⇒缶蹴り⇒ファミコン』の無限ループでした。夏は川で魚を取って、冬はスキーでした。



【実家の風景】

3. 父親から学んだことはなんですか？

スキー、車。

4. 母親から学んだことはなんですか？

家事。

両親から教わった事って、何一つ無駄なことが無かったな、って最近思います。

5. 今取り組んでいること、学んでいることのきっかけは？

(ターニングポイント)

担当している方の体調が急変・急逝を経験する事も多いですが、『医療や介護の現場で体調を崩すのはありがちな事』で片づけてはダメかなと思います。本人や家族、周囲の人にとって、とても大変な事で、それらを未然に防ぎたいと思っています。

III. 具体的な仕事の内容

1. 1 日の仕事の流れは？

8 時 30 分始業ですが、8 時頃には出社。デイケアが主担当ですが、デイケアの時間以外に入所リハ、訪問リハに携わっています。リハ業務が終わると、申し送りやカルテ記入、実施計画書作成などなど。たまに保育園の迎えを任せられると、5 時 30 分ダッシュ厳守なのでとても一日が忙しいです。

2. 今取り組んでいること、学んでいることの具体的な内容は？

前述したように、体調の変化に注意したいと思っています。当たり前かもしれませんが、その方の当日の体調や利用日

以外の様子などを最低限、尋ねるようにしています。何気ない会話の中からも体調に関する事や困っている事なども聴取できたりするので、コミュニケーションを取る事は大切にしています。

3. やりがいは？

本当にやりがいを感じるようになったのは 5 年目過ぎて位かなと思います。この頃になり、他職種との連携も上手くいくようになり、自分のやりたい事・考えている事を相手に伝えるようになり、仕事がスムーズになってきた気がします。

ま、あとは月並みですが、ご利用者に『ありがとう』と言われるとやって良かったな、と感じます。

4. これまでの仕事上での最大の成功は？

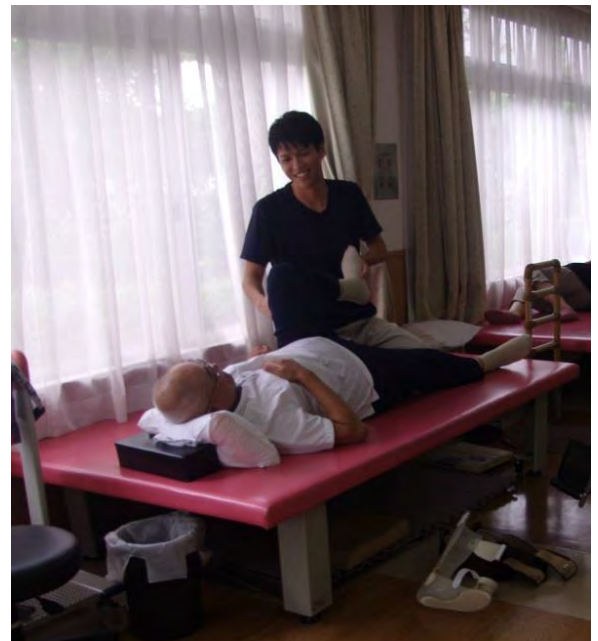
思い浮かべても見つかりませんでした（笑）

元々、保守的なので大きな仕事をやってのけるより、日々の小さな成功や経験の積み重ねる事が性に合っています。

5. それによって何を得て、何を学びましたか？

成功体験からではないですが、日々の業務で最近思う

事として、この職業は『人に直接触れる事が非常に多い』と感じます。評価や治療として、手や足、体、顔など、他の職業と比較してもこれ程までに人に触れる仕事は少ないのではないかと思います。その手からは相手に対して、安心感、快感だったり、不快感（知覚異常とか）だったり、時には感染源として、色々なものを相手に伝えます。自分が触れる事でいかに positive な感情・感覚を相手に伝えられるか…難しい所です。



6. その学びをどう活かしていますか？

『触れる』事以外にも相手への接し方には配慮しているつもりです。特にデイケアは、サービス業的は要素が強いなと思います。デイケアがつまらなかったり、嫌な思いをしたら、すぐに利用終了なんて事がよくあります。終了されてしまったら、

いくらリハビリの進行が中途半端になってしまっても、打つ手はありません。『今日も一日デイケアに来て良かった。次もまた来よう』と思ってもらえるよう心がけています。

7. 現在、解決しなければならない問題は？その解決策は？いつやりますか？

目下、解決しなければならない事は、介護保険改定への対応で業務量が増加している事です。毎日、PC に向き合ってる時間も多く、ご利用者一人一人の事に割く時間が減ってしまっています。

8. その仕事に就いて自分が変わったことは？

職場で放出されたアドレナリンが家に帰っても途絶えず、変な時間に掃除とかしてしまいます。

9. 仕事以外にも何かやっていることは？休み日とか…

休みの日は子守りが多いです。たまに明るいうちから呑むビールが背徳感があり、格別においしいのが幸せです。



10. 生活と仕事の両立について

とても大変です。家に帰ってからがドタバタです。でもその大変さを上回るのが子の可愛さ。しかし徐々に成長し、憎まれ口を言われ、『可愛さ』＜『大変さ』にならないか、怖い
です（ ; ; ）

IV. おわりに

1. 今後（近い将来 3～5 年後程度）の目標は？

現在のサブチーフとしての役割がさらに増してくるのかと思います。『働きやすい職場』を目指して頑張りたいと思いますが、働きやすさってその人の価値観によって異なります。それでも、今、共に働くスタッフに少しでも働きやすいと思ってもらえるよう努力したいです。

2. そのためにどんな想いでどんな取り組みをしていますか？

よく『理想の上司とは』的な話が出たりしますが、正直、全く答えが見つかりません。それも人により価値観が違い、『○○な上司が理想だ！』という答えが一つでないからなのかと思います。スタッフ一人一人の話を聞いたり、声掛けたりと日頃からの関わりをする事で、そのスタッフが求める上司像が見えてくるのかと思い、努力したいです。

3. 目指している人物はいますか？

親父です。決して子育てに協力的な人ではありませんでしたが、気が付けば顔と声だけでなく、性格まで似てきています。仕事に対する考え、姿勢はホントに真似できないなと思います。

4. 目指している人物がいたとしたらその人物はどのような点で目指す価値がありますか？

今まで一度も『仕事に対する愚痴や不満』を聞いたことがありませんでした。そのくらい自分の仕事に誇りを持ち、人に愚痴などを溢す事もないので人望もあるのかなと思います。

5. あなたにとって仕事とは？

このアンケートで一番の難問でした(笑)。考えたこともなかったし、結局自分にとって何なのか分かりません。ただ、仕事をしているからこそ家に帰るのが楽しみだったり、友人とお酒を飲む時間が楽しかったりするのかも知れません。

6. AMG で働く仲間に向けてメッセージをお願いします！

グループ内には多くの先輩方がいる中で、まだまだ若輩者ではありますが、これからも精進してまいりたいと思います。ご迷惑も多々お掛けしますが、宜しくお願い致します。



【リハ科の仲間たち】

かなかな☆調査隊

さて、今月号のかなかな調査隊は「他の病院・施設では行っていないと思う取り組み(自慢)特集」です。今回は八潮中央総合病院・勝田病院・ハートケア東大宮より取り組み(自慢)を教えてくださいました！

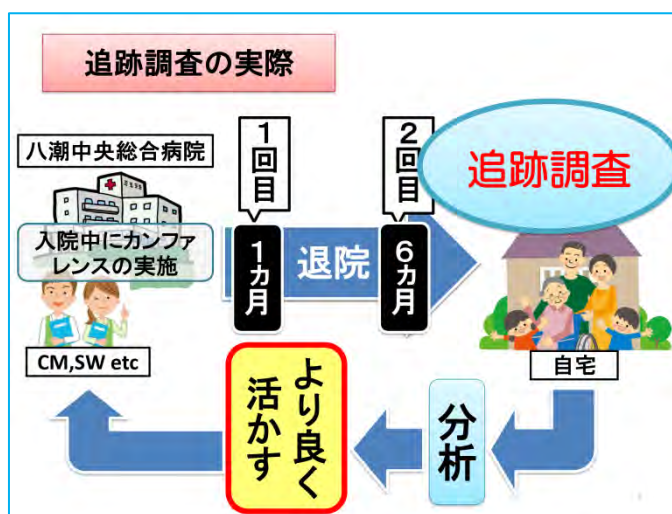
「退院支援スキルを上げたい！それなら実際に見に行こう！」

～当院の退院後追跡調査についてご紹介～

八潮中央総合病院 科長 我妻祐哉

当院のリハ科では退院された患者様にご協力頂いて、退院後の生活状況を調査させて頂いています。当院の調査活動には全国的にも珍しい特徴があります。それは入院中に担当したセラピストが実際に家まで訪問しているということです。この取り組みは数年前にある 1 人のスタッフの発言がきっかけで始まりました。

「退院した患者さんの家に行ってみてもいいでしょうか？」そのスタッフは、自分が提案した退院後の生活に対するアドバイスが、本当に正しかったのか確かめたいということでした。我々セラピストは、担当患者様の退院に際して自宅でのトレーニング内容や家屋改修の提案、さらにはケアマネさんと介護サービスの検討を行うなど、退院支援に様々な知識や判断が求められます。それは経験の少ない新人スタッフも同様です。しかし、提案や判断した内容が正解だったのか、その答えがフィードバックとして担当スタッフの耳に届くことは稀です。



調査の様子



地域のケアマネジャーさんと共に、退院者の自宅に訪問することもあります

実際の担当者がその目で確認してくることで、自分の退院支援についての過不足がはっきり分かります。1 回 1 回の訪問調査が、スタッフ 1 人 1 人を非常に成長させています。それは次に退院される患者様の退院支援に必ず繋がる成長であるはずで

当院では年間約 100 件にのぼる追跡調査を実施し今年で 5 年目になります。その 1 つ 1 つのデータを丁寧に分析し、科内だけではなく学会などを通して対外的にも発信し続けています。現在ではこの調査に魅力を感じて、当院への入職を希望される方も増えています。

現在我が国が直面している超高齢化社会においては、退院支援まできちんとしたフォローができないと、すぐに再入院につなが

ってしまう時代です。我々リハビリテーションの専門職も再入院を予防するという観点での取り組みが必要になっています。退院後追跡調査は今後も継続して、よりより退院支援ができる病院・リハ科を目指していきます。



勝田病院の紹介

～構造的メリットを活かしたリハ科内連携による退院支援の取り組み～

勝田病院 係長 立花 淳二

当院は茨城県ひたちなか市にあります。ひたちなか市は「なっとう」で有名な水戸市の隣にある市です。これからのシーズンは海水浴と日本三大音楽フェスの ROCK IN JAPAN で賑わいます。都心からも特急で 1 時間ほど・・・と近いですよ。

病院の機能としては、地域の急性期～亜急性期の医療と、人工透析を主体とした長期間の治療・療養を目的とした医療の 2 つの異なる病棟を有しています。

リハビリテーション科には PT・OT・ST 合わせて 24 名が在籍しています。

最大の特徴は、**AMG 内で唯一、併設の介護老人保健施設があることです。**しかも同一建屋内にある為、スタッフルームや一部訓練室が共有となっています。

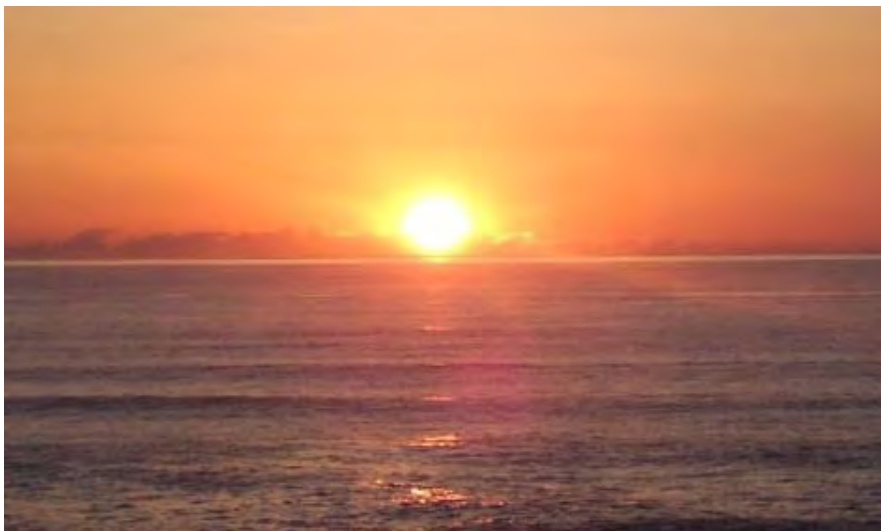
これは勝田病院のリハビリテーション科にとって他にはない強みです！！

急性期医療において在院日数が短縮されていく中で、当院では老健勝田と協働して切れ目のないリハビリテーションを実施することで、近隣の病院・施設にはない高い在宅復帰率を誇っています。老健勝田へ入所となる利用者の殆どが入院中にリハビリテーションを実施しており、決して回復期リハ病棟がなくても、長期的なリハ計画の下、退院支援を行っている結果といえます。

同一建屋のメリットとしては

- ①病院と老健の各職種間での情報共有がしやすい。
- ②サマリーなどの紙面では表せない複雑な家族背景や臨床像をダイレクトに伝えられる。
- ③入所前に行われる判定会議に病院のセラピストが同席をしてリスク管理について老健の看護師・介護職員へ伝えられ、入所後に安全に配慮した環境設定が事前に行える。
- ④若いセラピストには病態の予後予測がしやすくなる。(長期的な変化を知る事が出来る)
- ⑤退所までの一連の流れを構築しやすくなることで在宅復帰への支援が容易となる。
- ⑥医療・介護・地域の分野についてそれぞれを知ることによってセラピストとしての幅が広がる。

このような当院の特性を活かした新人教育・人材育成を通じて多方面で活躍できるセラピストになれることが勝田病院の魅力です。



介護老人保健施設 ハートケア東大宮

Feature ～特色～

気分一新



役職者以外、毎日
席が替わります。
色々な人と、色々
な会話を楽しんで
います。

コミュニケーション



スタッフルーム
は、スタッフ同
士「顔が見える」
「目を見て話が
できる」ように座
席を配置してい
ます。

大切にしているもの・・・ 「仲間」「やいがい」「楽しみ」

種まきから収穫まで、そして食べちゃう！！



収穫の喜びを、ご利用者、
職員で共有できます。
季節感や役割、達成感な
ど、効果も色々！！
まさに「青空リハビリ」

『あの畑にまた立ちたいから』
どこかで聞いたことがあるよう
フレーズですが、当施設も、畑
2ヵ所とたくさんのプランター
で、“農業”をしています。



収穫したら、もちろん食す！
栄養士の協力のもと、安心・
安全に調理して、提供してい
ます。
自分で育てた野菜を、新鮮な
うちに味わう。醍醐味ですね

ハートケア東大宮 リハビリ ブログ

検 索

【発信元】

上尾中央医科グループ協議会 リハビリテーション部

部長：奥村 博文

担当：坂本 佳奈 (kana.sakamoto@achs.jp)

長澤 花菜 (kana.nagasawa@achs.jp)

ご意見やご感想、お待ちしております